

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D1			
		仕様	STD			
		適用号機	XKF00001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	エンジン回転速度	min ⁻¹	2100		
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	950		
		ローアイドルリング	min ⁻¹	—		
		トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	(°C) (°C)	(70~80) (80~90)		
	エンジン油圧	kgf/cm ² KPa (°C) (min ⁻¹)	375~ (60~70) (1800-2400)			
	弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 (測定条件)	mm mm	0 0 (冷間時)			
		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	kgf/cm ² KPa (°C) (min ⁻¹)	350 (—) (—)		
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] [kgとNの両方で表記]	mm [N]	設定なし (自動張り調整)		
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—		
		ペダルの遊びとストローク	c m	—		
		ペダルの全ストローク	c m	—		
	走行ミックス油圧ポンプ	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa kg/cm ²	—	
			ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa kg/cm ²	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—	
			クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	—	
				(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	—
		プロベラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m	—	
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	c m c m	—		
		ステアリングクラッチ油圧 (油温) (回転速度)	MPa kg/cm ² (°C) (r p m)	—		

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D1		
		仕様	STD		
		適用号機	XKF00001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
走行装置	クローラベルト	ベロム	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—
			鉄シユ	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)		mm	—
		履板取付ボルト 締付けトルク	N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上	—	
作業装置	シリンダー自然伸縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5分 地面から254mm
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯
		リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5分 地面から254mm	
		リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
	ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
		バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
	作業機速度	ブルドーザー	(作動油温)	(°C)	—
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面~最大
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面~最大
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² MPa (°C)	20.6±0.9 (38~65)	
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
<p>図 1. 履帯調整方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2. バルブ・カバーを取外す。（図は開けた状態） 3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 <p>トラックを緩める場合、リリーフ・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリーフ・バルブ（2）を閉めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. バルブ・カバーを閉じる。 6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。 <div data-bbox="356 485 728 724" style="text-align: center;"> </div>